

この資料は、第5回リーダー会議の次第8「計画の理念など計画全体に関わる部分の検討」で分科会に検討を依頼し、分科会ごとに検討した結果を集約したものです。各分科会において共通している意見や、類似の意見などを集約して、今後、起草委員会で作成する「総論」の材料にできるよう、事務局でまとめたものです。

各分科会における主な計画全体に関わる部分の検討結果

幸せな社会（まちづくりの理念）

いつも人と人が信頼の絆でつながることで安心感が生まれ、幸福感を得られる社会
人の気持ちを思い、他人への思いやりにあふれた社会
みんなが感謝の気持ちを持てる社会
多様な生きがいが尊重され、誰もが希望を持てる社会
子どもたちとのふれあい、つながりが生む幸せを実感できる社会
営利やスピードや物質を限りなく求める社会ではなく、ある程度の手前でよしとするよ
くばらない社会
持続可能な社会

背景

- ・ 東日本大震災（未曾有の大震災）、原発事故
- ・ 資本主義社会、経済至上主義の限界、長引く景気の低迷
- ・ 単身世帯、独居老人の増加、孤独死
- ・ 子どもたちが生きる将来への不安

幸せな社会を実現するために必要なこと

- ・ つながり、絆（親子、地域、異世代）
- ・ コミュニケーション（話すこと）
- ・ 「自助」、「共助」、「公助」
- ・ 八王子の「市民力」、「地域力」
- ・ 地域の特徴を活かしたまちづくり
- ・ 地域を大切に思える地域づくり
- ・ ひとづくり
- ・ 子どもたちの将来を守っていくこと
- ・ 安全、安心
- ・ 役割を担う大人が楽しいしくみづくり
- ・ あるものを有効に活用していく知恵

～今だからこそ、自分たちができること～

- ・ 小さなことからはじめよう
- ・ 営利第一主義からの脱却
- ・ 一人ひとりが負担（金銭的なことも含む）をしていくこと
- ・ サラリーマン時代に気持ちがあってもできなかった社会貢献を今
- ・ 高齢者の勇気、若者の活力
- ・ コミュニケーションの再生、つながりをつくっていくためには、勇気や訓練も必要
- ・ 難しい課題を乗り越えていかないと突破できない時代だからこそ、自分たちが行動して未来をつくっていく。